

NATO が 2025 年までに崩壊する？

U.S. and Europe Are Splitting Over Ukraine

<https://moderndiplomacy.eu/2023/09/04/u-s-and-europe-are-splitting-over-ukraine/>

リード

欧州と米国は、一体感喪失の危機に瀕している。国際関係においてここ数十年で最も重大な出来事だ。

1949 年以来、NATO は世界の安全保障において比類なき存在である。当初は米国、カナダ、西ヨーロッパの 10 カ国による同盟であった NATO は、冷戦に勝利し、その後ヨーロッパのほぼ全域を含むまでに拡大した。NATO は、現代の世界史において最高の成功を収めた安全保障グループである。しかしスコットランドのセント・アンドリュース大学で戦略学を教えるフィリップス・ペyson・オブライエン教授は強調する。「NATO は 2025 年までに崩壊するかもしれない」と。

共和党保守層はウクライナからの離脱を主張

崩壊の危機をもたらした原因は、欧米間の大衆の防衛意識の乖離である。かたやトランプ前大統領に代表される共和党のポピュリスト層は、他方のヨーロッパの民衆とは安全保障上の見解が異なる。

より具体的に言えば、ヨーロッパの人々がもつ安全保障上の懸念が、米国の保守派には共有されていないという深刻な事実である。

トランプが次の大統領選挙に出馬するかしないか、出馬したとして勝利するかどうかはわからない。しかしトランプ率いる共和党のポピュリスト派が、今や共和党の過半数を占めることは明らかである。

言うまでもなく、このかい離はウクライナ戦争が直接のきっかけとなっている。アメリカの2大政党のうちの1つの党派が、戦争に意義を見いだせないというのであれば、それはロシアの侵略と戦うのを放棄することになる。それはウクライナ戦争が崩壊する直接の引き金になるだろう。

それは、米国が欧州にとって信頼できる同盟国でなくなることを意味し、国際政治のスペクトルの中心が揺れ動くことを示唆する。我々はそれに応じた準備を始めるべきである。

トランプの親ロシア、反 NATO を共和党は本気で支持している

ここ数週間で明らかになったのは、トランプ大統領の親ロシア、反 NATO 的な考え方が共和党政治における単なる一時的なものではないということだ。アメリカのウクライナ支援への疑念は、今や共和党のポピュリストの総意となっている。

先週の共和党大統領討論会では、ロン・デサンティスとヴィヴェク・ラマスワミがともにウクライナへの援助拡大に反対を主張した。この2人の候補者は、党のトランプ支持層にアピールすることに最も熱心である。

トランプは討論会に参加しなかったが、彼は以前からウクライナの勝利に対するアメリカの関心を軽視しており、ウクライナがロシアに領土を譲歩することに賛成している。

トランプ、デサンティス、そしてラマスワミは皆同じく、共和党有権者の約4分の3を占める、これら有権者を相手にしている。

もうひとつの指標はヘリテージ財団である。ヘリテージ財団は著名な保守系シンクタンクで、レーガン時代から共和党の政策界で大きな役割を果たしてきた。最近では、ヘリテージ関係者が、バイデン政権が戦争終結計画を打ち出すまで援助を停止するよう呼びかけている。

右派のデマゴグは、さらにあからさまにプーチン側に立っている。

例えば、トーク番組の司会者であるタッカー・カールソンは、8月のブダペストでの演説で、反キリスト教的バイアスがアメリカの対口戦争支援の動機

になっていると主張した。

選挙結果のいかんを問わず、ウクライナと NATO 支援は岐路に立たされる

アメリカ右派のウクライナ支援に反対する声の高まりは、NATO の将来を脅かす挑戦である。

たとえジョー・バイデンが再選を果たしたとしても、共和党が下院、上院、あるいはその両方を支配すれば、ウクライナの取り組みに対する米国の支援は大幅に弱まる可能性がある。

さらに、もしトランプかその亜流が勝利した場合、欧州はウクライナへの支援をすべて停止するアメリカの新政権に直面する可能性がある。

そのような動きは、アメリカ自身を自由で安定したヨーロッパの障害物とするだろう。

NATO が分裂したら...

NATO の分裂は欧州を大混乱に導くことになるが、欧州諸国はその可能性に備えていない。

現実には、欧州は長年にわたり、安全保障問題で米国の支援を受けてきた。その結果、米国にとっては、世界で最も重要な戦略的グループにおける米国のリーダーシップが強化された。

一方で、欧州諸国にとっては、国防費を他の国よりもはるかに少なく抑えることができるという、実質的なメリットがもたらされた。

このことは、もし NATO が分裂したら、欧州は自力では軍事力を支えられないということの意味する。

親ロシア、反ウクライナの立場が共和党で固まったとき、ヨーロッパの指導者たちが直面するのは、ウクライナが戦争に勝つための力仕事の大半を、欧州が担わなければならないという事態である。

今から1年半後、共和党政権が実現した米国が、ウクライナを見捨てれば、欧州が失った援助を補うことはできない。欧州が統一的な集団的軍事計画に着手できなければ、ロシアの侵略に脅威を感じていない西側の一部は、ウクライナから手を引いてロシアと取引しようとするかもしれない。アメリカの新政権に追随して...

その場合、最良のケースでも恨みと不信の遺産が沈潜する。最悪の場合は、欧州の協力関係が永久に分断されることになりかねない。欧州諸国はその最悪のシナリオを想定して計画を立てなければならない。さもないと最後は自らほぞをかむことになるだろう。